

2021年1月30日

令和2年度聖路加国際大学大学院看護学研究科課題研究

**国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケア
を推進する上での強みと課題：文献レビュー**
**Strengths and Challenges in Promoting
Mental Healthcare in Small-Scale
Enterprises in Japan: A Literature Review**

19MN012

坂下優華

要旨

【目的】国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアを推進する上での強みと課題について文献レビューを行い、国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアの推進において産業看護職として何ができるのかを考察することを目的とする。

【方法】2020年6月に医中誌Web、CiNii、Google、MEDLINE (PubMed)、CINAHLを用いて2020年6月までに公開された文献を検索し、PRISMA 声明を参考にスクリーニングを行った。Berelson, B の内容分析の手法を参考に、組み入れた文献から「国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアを推進する上での強みと課題」に関するコードを、意味内容を損なわないよう不要な部分を削除して抽出し、コードの意味内容の類似性に従ってサブカテゴリ化、カテゴリ化を行った。

【結果】文献選択の結果、10の文献を分析に組み入れた。抽出されたコードは287で、「国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアを推進する上での強み」は95のコード、72のサブカテゴリ、20のカテゴリが形成され、「国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアを推進する上での課題」は82のコード、56のサブカテゴリ、25のカテゴリが形成された。

【結論】本研究で抽出された「国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアを推進する上での強み」には、事業者等がメンタルヘルスケアの必要性を認識しているという強みを持つという特徴があり、「国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアを推進する上での課題」には、「メンタルヘルスケアに取り組みたいと考えていない」「メンタルヘルスに取り組みたいと考えているが難しい」に大分されるという特徴があった。国内小規模事業場におけるメンタルヘルスケアの推進において、産業看護職は「メンタルヘルスケアの必要性を認識している国内小規模事業場への支援」「メンタルヘルスケアに取り組みたいと考えていない国内小規模事業場への支援」「メンタルヘルスケアに取り組みたいと考えているが難しい国内小規模事業場への支援」「他職種との連携体制を整える」「国内小規模事業場のメンタルヘルスケアを取り巻く環境の改善を推奨する」といった実践が可能であることが示唆された。